

地域の未来を考える カーボンニュートラル社会 の実現に向けて

地域社会とともに明るい未来への実現へ



学長 後藤 泰之

近年、国内外で気候変動による様々な災害が発生し、その原因である温室効果ガスの削減が急がれています。そこで「カーボンニュートラル」の実現のため、国、地方自治体、大学、企業等のそれぞれが主体的に取り組むことが必要となっています。

愛知工業大学はこれまでも環境に配慮しつつ60年以上にわたり「ものづくり」を教育・研究の柱とした取組を行ってまいりました。今後、ますます環境に配慮した取組を加速させるとともに、地域貢献を通じて「カーボンニュートラル」の実現に寄与するため、人材育成、研究成果の社会実装など、地域社会の明るい未来に向けて皆様とともに取組を行ってまいります。

入場無料

日時：9月12日（火）
13：00～15：30
受付12：30～

定員：100名【申し込み先着順】
（定員となり次第、締切となります。）

場所：イオンモール長久手
4階イオンホール
愛知県長久手市勝入塚501番地

基調講演

寺村 英信 氏

経済産業省中部経済産業局 局長

13：10～13：50

「2050年カーボンニュートラル実現に向けて」

2050年カーボンニュートラル実現に向けては、産業界のみならず、地域と暮らしの脱炭素化を実現することが必要不可欠です。本講演では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国内外の最新動向に加え、地域でのカーボンニュートラルに向けた動きなどを紹介します。

【略歴】

1990年東大法卒、通商産業省（現経済産業省）入省。貿易経済協力局資金協力課長、製造産業局組織課長などを経て2019年株式会社日本貿易保険常務取締役就任。2023年6月より中部経済産業局長を務める。東京都出身。



セミナー講演

13：50～14：20

カーボンニュートラルの現状と 今後の展望



近藤 元博
愛知工業大学
総合技術研究所
教授

経済成長に伴いエネルギー消費量は増大し、年間400億トン以上の温室効果ガスが排出されています。世界は脱炭素の取組を加速しており、水素や再生エネルギーへの取組や、豪雨など気候変動による被害を最小化する強靱化の取組が進んでいます。本日はこれらの脱炭素の取組について理解を深めていきたいと思っております。

14：20～14：50

持続可能な未来を目指すための再生可能 エネルギーに関する技術紹介



雪田 和人
愛知工業大学
エコ電力研究センター長
（工学部教授）

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた様々な取組が開始されています。エコ電力研究センターは、設立当時からマイクログリッド、スマートグリッド、これらグリッドを構成する太陽光発電、風力発電、蓄電装置、電気自動車などについて研究を実施しています。本講演では、これら研究成果の社会実装への期待について紹介いたします。

14：50～15：20

CNの実現に向けたゼロカーボン推進室 の役割と取り組み



羽田 裕
愛知工業大学
ゼロカーボン推進室長
（経営学部教授）

近年、カーボンニュートラル（CN）の実現に向けて、教育、研究および地域・社会連携の観点から大学の果たすべき役割が大きくなってきています。そこで本学は東海地域においてCNの実現を率先できるよう努め、地域の皆様と一緒に取り組んでいくための今後を考える機会を提供したいと考えます。

お申込み
お問合せ

WEBフォームにてお申込みください

<https://req.qubo.jp/aitech/form/kickoffseminar>



【主催】愛知工業大学 ゼロカーボン推進室 mail : zero-carbon@aitech.ac.jp

【共催】イオンモール長久手

【後援】中部経済産業局、中部地方環境事務所、瀬戸市、豊田市、長久手市、みよし市